

# 兵庫県のに漁場環境情報 (淡路周辺海域 6号)

2023年12月 4日発行  
 兵庫のに研究所

海域全般に、依然として大型珪藻のコシノディスカスが確認されています。窒素は、東浦と南浦海域で概ね  $2 \mu\text{g at/L}$  台、西浦海域では  $1 \mu\text{g at/L}$  台の値となっています。

**(珪藻)**

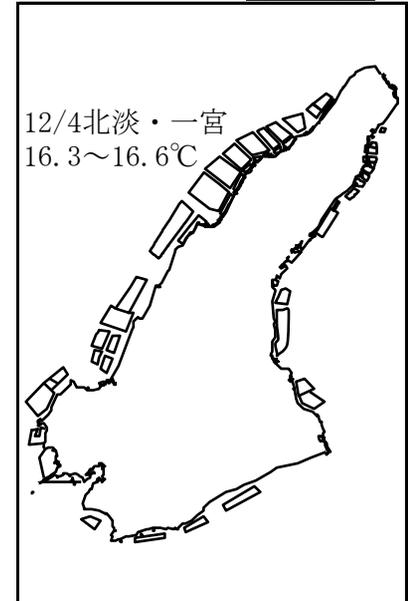
海域全般に、コシノディスカスが確認されており、発生量は横ばいである。各海域のコシノディスカス発生量は海水1Lあたり、東浦海域で500~600細胞(前回値: 300~900細胞)、西浦海域で200~700細胞(前回値: 600~700細胞)、南浦海域で250~400細胞(前回値: 200~500細胞)であった。

		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	2.5	<b>2.5</b>	5.5	5.0
	リン	0.54	<b>0.53</b>	0.56	0.51
西浦地先	窒素	1.2	<b>1.1</b>	5.2	4.5
	リン	0.48	<b>0.53</b>	0.65	0.57
南浦地先	窒素	1.7	<b>1.8</b>	4.8	3.7
	リン	0.48	<b>0.50</b>	0.60	0.50

(11/27)

(12/6)

**水温図**



**栄養塩 (窒素) 図**

2023年12月 4日調査

